

地域の皆さまと十六銀行

十六銀行は、岐阜県・愛知県を主要な地盤とする地域金融機関として、地域経済の活性化に積極的に取り組み、豊かで住みよい地域社会の実現に貢献したいと考えています。

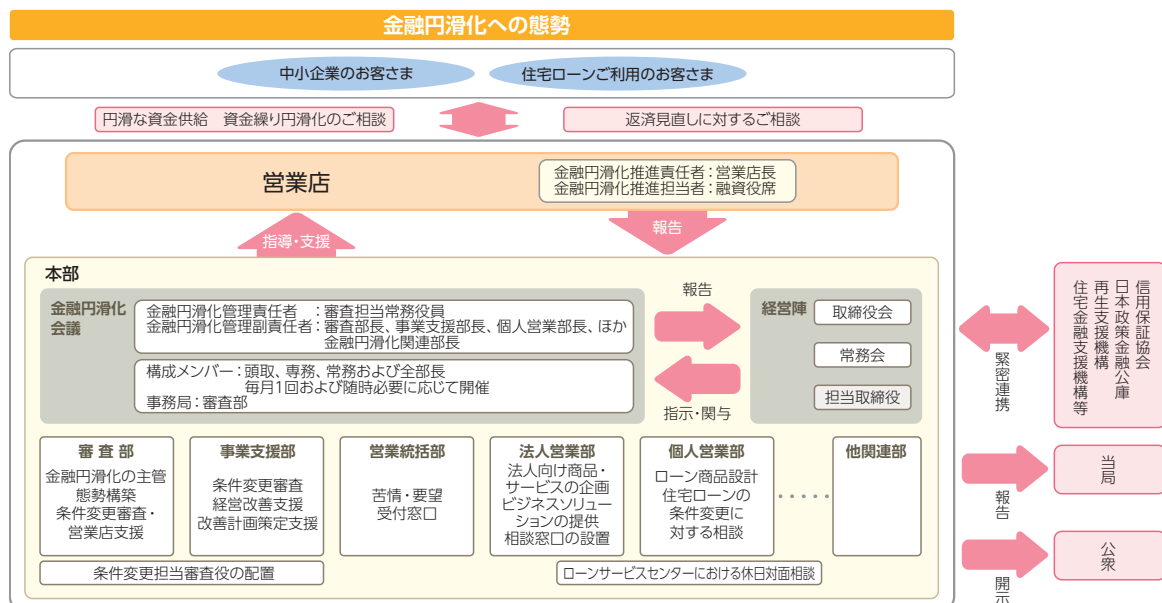


金融円滑化に向けた取り組みについて

当行は、「十六銀行は金融機関としての公共的使命を遂行することによって地域社会に奉仕する」を基本方針として、地域金融の円滑化を最も重要な責務と捉え、お客さまの資金ニーズや借入れ条件の見直しなどのご要望に対して積極的に取り組んでまいりました。当行では、従来以上に中小企業者のお客さまや住宅ローンをご利用されているお客さまからの各種ご相談にきめ細やかにお応えできるよう、平成21年12月、本部内に「金融円滑化会議」を設置するなど行内態勢を整備しました。これからも地域金融機関として、適切かつ積極的な金融仲介機能を発揮し、一層の金融円滑化に向け、平成22年1月に制定しました金融円滑化に関する基本方針に基づき、迅速、的確、丁寧な対応に努めてまいります。

金融円滑化に関する基本方針

- 1 ご相談等に対する真摯な対応
- 2 適切な融資審査の実施
- 3 説明の徹底
- 4 中小企業者のお客さまからのお申込みへの対応
- 5 住宅ローンをご利用されているお客さまからのお申込みへの対応
- 6 ご意見、ご要望および苦情への対応
- 7 条件変更等の実施後のフォロー態勢
- 8 経営実態ならびに成長性および将来性等を適切に見極めるための能力の向上
- 9 金融円滑化管理態勢整備
- 10 行内における周知



※「金融円滑化会議」は、経営陣のもと、審査担当部署および法人・個人の営業推進部署をはじめとする全ての部長からなる会議で、地域の中小企業者および住宅ローンのご利用のお客さまに対する金融の円滑化に適切に対応するため、その取り組み状況を検証し具体的な対応策を検討・実施するために創設したものです。

「緊急休日相談窓口」「休日ご返済相談窓口」の設置について

当行は、厳しい経済情勢を踏まえ、お客さまの資金繰り等のご相談にお応えするため、個人事業主や中小企業の皆さまを対象とした「緊急休日相談窓口」、住宅ローンをご利用の皆さまを対象とした「休日ご返済相談窓口」を設置しております。

地域密着型金融の推進

地域密着型金融とは、「金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することにより顧客に関する情報を蓄積し、この情報を基に貸出等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル」と定義されています。

平成22年度地域密着型金融の取り組み実績

第11次中期経営計画では、「お客さまとの生涯にわたるパートナー関係の構築に向けて、リレーションシップに基づく中長期的な視点での取り組みをしていく」ことを基本方針として掲げ、地域密着型金融の推進に取り組んでまいりました。

平成23年4月から新たにスタートした第12次中期経営計画においても、地域密着型金融の推進を基本方針のひとつとして取り組んでまいります。

🌟 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

重点項目	平成22年度の取り組み実績
創業・新事業支援への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 民間主導型ベンチャー支援組織「NOBUNAGA21」を活用し、販路・提携先の紹介、助成金制度、プレゼンテーションの場の提供等、個々のベンチャー企業のニーズに応じた支援に取り組みました。 ● 平成22年度で6回目となるベンチャービジネス助成金制度への応募に対し、最優秀賞1社、優秀賞2社に助成金を贈呈しました。
経営改善への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● お取引先が抱える経営課題の解決に向けたコンサルティング機能の充実をはかり、ニーズを発掘し、これに応じた支援を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 人事・経営コンサルティング …… 89件 ・ 財務分析 …… 74件 ・ M&A …… 78件 ・ ビジネスマッチング商談件数 …… 121件 ● 「海外販路開拓チャレンジ2011 in名古屋」「岐阜県・じゅうろく海外販路開拓セミナー」を開催しました。
事業再生支援への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営改善支援取り組み対象先191先の経営改善支援に積極的に取り組み、95先について再生計画を策定しました。その結果、6先について債務者区分のランクアップをはかることができました。
事業承継支援への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 後継者問題を抱えるお取引先等に対し、コンサルティングの実施や外部専門家の紹介により、31先のM&Aニーズを把握し、アドバイザー業務の提供など事業承継に向けた支援に取り組みました。 ● 近隣他行と連携し、「中部金融M&Aネットワークセミナー」を開催しました。

🌟 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

重点項目	平成22年度の取り組み実績
不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● お取引先の事業継続に関する産業構造上の特性や拠り所に着目した融資商品「十六銀行ものづくり応援ファンドII」を設定し、463件、272億円の融資を取り組みました。 ● 日本銀行の新貸出制度を活用した融資商品「成長戦略ファンド」を設定し、「中部のものづくり」「アジアを中心とする海外進出」「医療・介護・健康・食品」「事業再編・新分野進出」の4分野に、165件、190億円の融資を取り組みました。
資金調達手法の多様化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 「自動車部品」「肉牛」を担保目的物とした動産担保融資に取り組みました。

🌟 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

重点項目	平成22年度の取り組み実績
地域再生・地域貢献への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 産学連携協定を締結する大学の紹介や、国・県などが設置する各種研究機関への打診など、産官学連携のコーディネーターとして、お取引先のニーズに対する支援に取り組みました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業支援策の活用支援 49件
多様な金融サービスの提供に向けた取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校や地方公共団体等と連携して、地元の若年層を対象とした金融経済教育を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第5回全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園岐阜大会」の開催 ・ 中部学院大学・各務原市教育委員会との連携「ががく・さんすうアカデミー4」来場者：約2,000人

地域経済・地域社会への貢献～CSRの取組み～

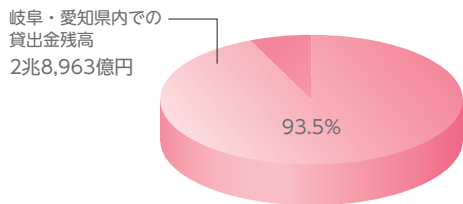
地域の皆さまとのお取引状況

地域の皆さまへの貸出の状況

総貸出金残高に占める岐阜・愛知県内での貸出金残高割合は93.5%、総貸出先数に占める岐阜・愛知県内での貸出先数割合は99.7%です。今後も引き続き、地域経済の発展に貢献できる金融機関を目指します。

岐阜・愛知県内での貸出金割合

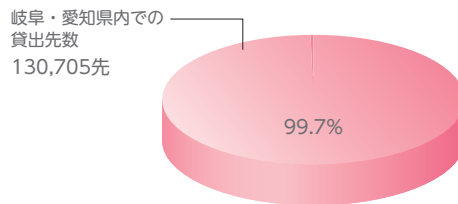
(岐阜・愛知県内での貸出金残高/総貸出金残高)



(平成23年3月31日現在)
※総貸出金残高 3兆962億円

岐阜・愛知県内での貸出先の割合

(岐阜・愛知県内での貸出先数/総貸出先数)

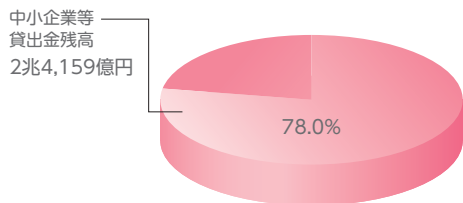


(平成23年3月31日現在)
※総貸出先数 131,027先

中小企業等に対する貸出の状況

中小企業等貸出金割合

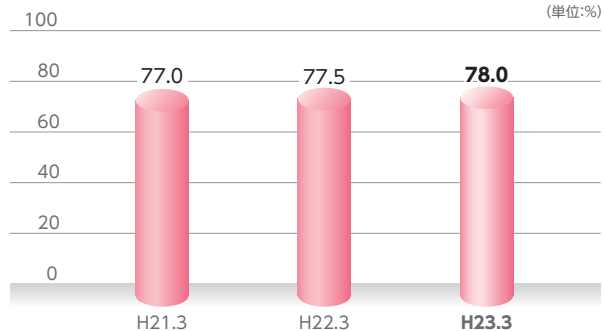
(中小企業等貸出金残高/総貸出金残高)



(平成23年3月31日現在)
※総貸出金残高 3兆962億円

中小企業等貸出金割合の推移

(単位:%)

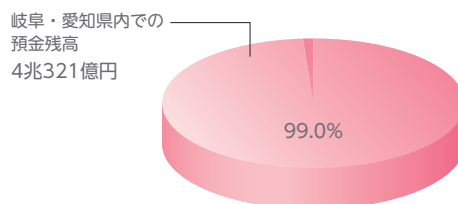


地域の皆さまからのお預入れの状況

平成23年3月末時点での総預金残高4兆694億円のうち、岐阜・愛知県内での預金残高は4兆321億円であり99.0%を占めています。

岐阜・愛知県内での預金残高割合

(岐阜・愛知県内での預金残高/総預金残高)



(平成23年3月31日現在)
※総預金残高 4兆694億円



地域の皆さまとのお取引状況一覧

(平成23年3月31日現在)

貸出金残高(億円)	
総貸出金残高	30,962
岐阜・愛知県内での貸出金残高	28,963
岐阜・愛知県内での貸出金残高割合	93.5%

貸出先数(先)	
総貸出先数	131,027
岐阜・愛知県内での貸出先数	130,705
岐阜・愛知県内での貸出先数割合	99.7%

中小企業等貸出金残高(億円)	
貸出金残高	24,159
貸出金残高割合	78.0%
岐阜・愛知県内での貸出金残高	23,752
岐阜・愛知県内での貸出金残高割合	98.3%

中小企業等貸出先数(先)	
貸出先数	130,519
貸出先数割合	99.6%
岐阜・愛知県内での貸出先数	130,350
岐阜・愛知県内での貸出先数割合	99.8%

個人貸出金残高(億円)	
貸出金残高	8,659
岐阜・愛知県内での貸出金残高	8,654
岐阜・愛知県内での貸出金残高割合	99.9%

個人貸出先数(先)	
貸出先数	107,033
岐阜・愛知県内での貸出先数	106,974
岐阜・愛知県内での貸出先数割合	99.9%

預金残高(億円)	
総預金残高	40,694
岐阜・愛知県内での預金残高	40,321
岐阜・愛知県内での預金残高割合	99.0%

信用保証協会保証債務残高(貸出金のみ、億円)	2,973
------------------------	-------

業種別貸出金の状況

業種別の貸出先数、貸出金残高および岐阜・愛知県における貸出先数、貸出金残高は次のとおりです。

(平成23年3月31日現在)

業種	貸出先数(先)	岐阜・愛知県での		貸出金残高(億円)	岐阜・愛知県での貸出金残高(億円)
		貸出先数(先)	貸出金残高(億円)		
製造業	5,219	5,128	5,796	5,109	
農業、林業	217	217	54	54	
漁業	5	5	2	2	
鉱業、採石業、砂利採取業	33	32	27	23	
建設業	3,654	3,650	1,617	1,610	
電気・ガス・熱供給・水道業	59	56	227	210	
情報通信業	232	228	229	180	
運輸業、郵便業	637	620	791	551	
卸売業、小売業	4,753	4,704	3,418	3,221	
金融業、保険業	127	103	902	568	
不動産業、物品賃貸業	3,971	3,926	4,292	3,878	
学術研究、専門・技術サービス業	845	844	246	246	
宿泊業	112	110	270	260	
飲食業	1,134	1,130	245	234	
生活関連サービス業、娯楽業	661	653	652	638	
教育、学習支援業	133	133	61	61	
医療・福祉	1,185	1,179	890	889	
その他のサービス	974	971	295	294	
地方公共団体	41	40	2,278	2,269	
その他	107,035	106,976	8,661	8,656	
合計	131,027	130,705	30,962	28,963	

(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

豊かで、活力にあふれた地域社会づくりのために。

地域経済活性化活動

地域社会の一員として、
地域の活性化のために求められる、
さまざまな活動を行っています。



取引先企業活性化に向けての活動

当行では、取引先企業のさまざまな経営課題に対し最適なソリューションを提案し、企業のライフサイクルに合わせ付加価値の高いサービスを提供するよう努めています。シンジケートローンや私募債、ABL等多様な資金調達の方法を提供するとともに、ベンチャー支援組織「NOBUNAGA21」による投資活動、ビジネスマッチングや三行ビジネス商談会、M&A業務、事業承継支援業務等、事業の立ち上げから継続的な発展まで、さまざまなライフステージにある企業をサポートする取組みを行っています。

「第7回三行（十六・名古屋・百五銀行）ビジネス商談会」の開催について

平成22年9月17日、名古屋市中企業振興会館（吹上ホール）において当行・名古屋銀行・百五銀行の共同主催による「第7回三行ビジネス商談会」を開催しました。

今回は、業務提携している北陸地域の銀行のお客さまからも参加が増え、全体で610社の企業に参加いただき、1,280件の個別商談と約70社のブース出展による商



海外進出支援 について



「海外販路開拓セミナー」の開催

平成22年8月26日、当行名古屋支店にて「海外販路開拓セミナー」を開催しました。

当日は、世界最大級の企業間電子商取引（BtoB）サイトを運営するアリババドットコムグループと日本通運株式会社の講師から、海外ビジネスを展開するお客さまにインターネットを活用した海外販路開拓に関する情報をお届けしました。



また、平成22年11月4日、岐阜県民文化ホール 未来会館において、岐阜県・財団法人岐阜県産業経済振興センター・JETRO岐阜・岐阜市産業貿易協会と共同で、「岐阜県・じゅうろく海外販路開拓セミナー」を開催しました。セミナーではアリババマーケティング

株式会社・楽天株式会社の講師から、インターネットを活用した海外販路開拓についての説明が行われました。

中国人民元建て貿易決済業務の取扱い開始について

平成22年9月6日より、東海地区に本店を置く地方銀行で初めて中国人民元建て貿易決済（仕向外国送金・被仕向外国送金）の取扱いを開始しました。従来、中国との貿易取引は、円や米ドル建てによる決済が一般的でしたが、中国政府の規制緩和に伴い人民元建て貿易決済が可能となったものです。今後、お客さまの人民元建て貿易取引のニーズが高まることから、他行に先駆け取扱いを開始しました。

談会を行いました。アンケートでは法人のお客さまが金融機関に期待する機能・役割において、「ビジネスマッチング」に関するご要望が上位にあります。当行としましては、金融業務のみにとどまらず、商談会のようなビジネスマッチングの機会提供をはじめ、さまざまなサービスを提供することで地元中小企業を中心とした地域経済の活性化を目指し、皆さまのお役に立ちたいと考えております。

ぎふ・みえフーズマッチングフェア in 名古屋 with ぐるなび

平成23年1月には、名古屋市内で食の商談会「ぎふ・みえフーズマッチングフェア in 名古屋 with ぐるなび」を百五銀行、岐阜県、三重県およびぐるなびと連携し、開催しました。

岐阜県・三重県の豊かな食材の新たな市場開拓、販路拡大をはかることで、農畜産業等の食産業をサポートし、また6次産業化や農商工連携により新商品の開発を目指す生産者と、パートナーとなる企業とのマッチングの場を提供することを目的としました。



ぎふ地域ベンチャー支援ネットワーク 「NOBUNAGA21」

当行は、平成12年12月に、野村證券、有限責任監査法人トーマツと三社で、全国初の民間主導によるベンチャー支援組織を発足し、創業期、発展期の企業、事業家の方々の支援を行い、地域経済活性化に努めています。



ものづくり支援の取組み

当行は、当地区の基幹産業である「ものづくり」へのさまざまな支援に取り組んでいます。地元製造業との関係強化のため法人営業部内に設置した「マーケット戦略チーム」においては、航空機部品や医療機器への参入支援、技術開発に関する情報提供、産学連携のサポート等を行っています。



「日中ものづくり商談会@上海2010」の開催について

平成22年9月16日、17日の2日間にわたり、中国・上海市にて「日中ものづくり商談会@上海2010」を開催しました。当行は、1993年に地方銀行として初めて上海に駐在員事務所を設置し、以来17年にわたり、お客さまの中国進出をサポートしてまいりました。本商談会は、当行が5年前に地方銀行で初めて開催し、今回6回目の開催となるもので、2日間の開催期間中で、日系企業334社（内当行

- お取引先12社）が出展、来場企業3,200社、来場者数5,300名、当日の商談件数は8,500件と、過去最大規模となりました。

「海外進出支援融資説明会」の開催

- 平成22年10月27日、岐阜県民ふれあい会館において、「海外進出支援融資制度」に関する説明会を開催しました。海外市場の拡大や、急激な円高への対応のため、海外での生産・販売拠点を設立・検討されるお客さまが増えています。
- 本説明会では、岐阜県・岐阜県信用保証協会のご協力をいただき、海外への展開において活用が可能な公的融資・保証制度に関するご説明をいただきました。

カシコン銀行への 研修生派遣について

- お客さまの海外ビジネス支援体制を強化するため、平成22年12月より1年間の予定で、業務提携先のタイ・カシコン銀行に、行員1名を研修生として派遣しました。
- 研修生は、カシコン銀行・ジャパンスクに在籍し、主に日系企業を対象としたタイ進出サポートのほか、現地での金融サービスや情報提供等の業務に携わっています。
- 今回の研修生派遣により、日本での海外ビジネスサポートに加え、カシコン銀行の充実した金融サービスをフルに活用した現地でのサポートも可能となりました。

次のページへ
続きます！



人と環境にやさしい金融機関をめざして。

環境保全活動

十六銀行は自ら行う環境保全活動だけでなく、お客さまのさまざまな環境活動を支援いたします。



ISO14001に関する活動

平成13年5月に本店ビルにてISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得してから今年で10周年を迎えました。

平成18年には事務センターにまで適用範囲を拡大し、継続的に環境保全活動を行っています。



環境マネジメントシステム審査登録証

環境に関する規制の遵守

環境問題が社会に与える影響は大きく、環境に関するさまざまな法規制等があります。平成22年4月には、エネルギー消費量が増えている業務部門と家庭部門の省エネを推進するために改正された「エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）」が本格施行されました。

当行はこれに対応するための体制をいち早く整備し、全行をあげて省エネに取り組んでいます。

前のページからの続きです！



海外金融機関との提携強化について

当行では、海外現地の金融機関との業務提携にも積極的に取り組んでいます。

平成23年3月15日、インドネシア共和国の国有商業銀行であるバンクネガラインドネシア（本店：ジャカルタ市）と業務提携したのに続き、3月17日には、中国最大の商業銀行である中国工商银行（本店：北京市）、5月2日には、インド共和国の最大手銀行であるインドステイト銀行（本店：ムンバイ市）と、東海3県の地方銀行で初めて業務提携しました。業務提携の充実により、当行のお客さまが海外で事業を展開する際、提携金融機関との取引や現地通貨で

の資金調達が可能になるほか、進出する際の法律や税務に関する経営情報の入手も可能となります。



インドステイト銀行との業務提携

「海外ビジネス支援に関する広域連携」について

平成23年5月18日、当行・山陰合同銀行・広島銀行・北國銀行の4行は、「海外ビジネス支援に関する覚書」を締結、海外における相互協力体制を構築しました。国内での営業地域が異なる金融機

関が連携し、各行が設置する駐在員事務所（当行：香港、山陰合同銀行：大連、広島銀行：バンコック、北國銀行：シンガポール）の相互利用を可能とするものです。これにより、各行のお客さまが、海外現地における法務・税務・経済等に関する情報を、従来以上に幅広く入手・活用できるようになり、より充実したサポートを受けていただくことが可能となりました。



海外ビジネス支援に関する広域連携・調印式

環境保全活動の内容と実績

省エネルギー、省資源の推進

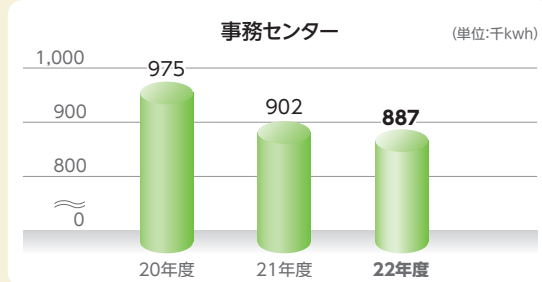
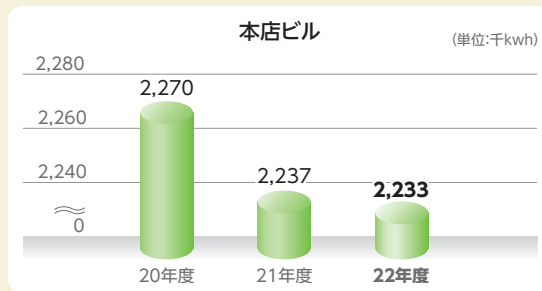
銀行の場合、エネルギー使用の大部分が空調や照明の電力使用です。空調温度（夏季28℃、冬季20℃）や不要な照明のカットなどの管理を徹底し、削減に努めています。また両面コピーの励行やパソコンネットワークの活用などペーパーレス化を進め、コピー用紙使用量の削減の取組みを推進しています。

*平成22年度の本店ビルと事務センターの電力使用量はISO活動開始前と比べ、それぞれ28.5%、30.9%の削減となりました。

紙のリサイクル推進

使用済みコピー用紙などの紙類は分別回収を徹底することで、大半が製紙原料として利用され、段ボールやトイレトペーパーとして再生されています。

＜電力使用量の推移＞



環境対応型金融商品の取扱い

環境対応型金融商品の取扱いを通じて、お客さまの環境問題への前向きな取組みをサポートしています。

「じゅうろく環境格付融資制度」 「じゅうろく環境私募債」の 取扱い

お取引先企業の環境保全への取組みを後押しすることで、地域における環境金融の実現を目指し、「じゅうろく環境格付融資制度」と「じゅうろく環境私募債」の取扱いを開始しました。いずれも、お取引先企業の環境保全への取組みについて評価格付けし、その格付結果に応じて優遇金利をご利用いただける商品です。

「エブリサポート21」の 取扱い

事業者向けに環境問題対応支援ローン「エブリサポート21」を取り扱っています。本商品は、低公害車購入の場合、また、太陽エネルギー等の新エネルギー設備、公害防止設備、リサイクル関連設備などを導入される場合、ISOの認証取得する場合等にご利用いただけます。



「じゅうろくエコローン」の 取扱い

個人向けに「じゅうろくエコローン」（マイカーエコプラン、住宅エコプラン）を取り扱っています。このローンは無担保、無保証人扱いでハイブリッドカーなどの環境対応型自動車や省エネルギー住宅機器を購入される場合にご利用いただけ、通常の無担保ローンに比べ、お得な金利設定となっています。

グリーン購入の推進

事務用品・広告宣伝品等について、価格や品質だけでなく、環境負荷のできるだけ小さい製品を優先して購入するグリーン購入を推進しています。

環境に配慮した店舗づくり

平成22年7月にオープンした関支店、11月にオープンした一宮支店では建物全体に太陽光線を反射するタイルと複層ガラスでクールアイランド効果と空調負荷低減を実現、また外灯など一部照明にLED、快適性と省エネを両立した空調システムを採用するなど、環境配慮に取り組んでいます。



企業市民の立場から、幅広い社会貢献活動を通し、地域社会の健全な発展に貢献。

社会貢献活動

企業もまた市民の一人であるという
企業市民の立場に立ち
積極的な社会貢献活動を展開しています。



卓球部の活躍

～地域の皆さまに愛されるチーム作りを目指して～

当行卓球部は昭和55年創部以来、皆さまの温かいご支援のもと地道な努力を重ね、日本卓球リーグ実業団連盟に加盟し、女子1部チームとして活躍しています。

平成24年に開催される「ぎふ清流国体」に向けてジュニア層の強化と普及活動を積極的に行っています。



「十六銀行地域社会貢献推進委員会」の活動

十六グループ会社役職員が一体となり、地域社会への積極的な貢献活動に取り組んでいます。

11歳以下を対象とした「じゅうろくカップU-11サッカー大会」の開催や「長良川を美しくしよう運動」等の清掃活動をはじめ、「集団献血」、「地域のまつり」等々に参加しています。



当行所属スピードスケート選手の活躍

当行所属のスピードスケート選手がワールドカップで表彰台に上がるなど、国内外の大会で好成績を収めています。

平成24年に開催される「ぎふ清流国体」に向けてスピードスケート競技の普及活動を積極的に行っています。

「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」に対する応援の取組み

平成24年9月に開催される「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」に対して、当行はオフィシャルスポンサー第1号として表明を行い、チャリティゴルフを開催するなど積極的に応援してきました。「新」十六銀行グループとして最初の重要な地域貢献と捉え、大会の盛大な開催を支援してまいります。



<実施する取組み>

- ① グループ全役職員がミナモピンバッジを着用する
- ② 全営業車両に大会ステッカーを貼付する
- ③ 全営業店・関連会社に大会公式ポスターやのぼりを掲示する
- ④ グループ役職員延べ1,000人が両大会のボランティアとして参加する

「じゅうろくてつめいギャラリー」の活動

「じゅうろくてつめいギャラリー」は、当行の旧徹明支店を改修したもので、平成19年9月から地元の皆さまには“文化活動の発表や交流ができる歴史的な建造物”として絵画展・写真展・講演会などにご利用いただいております。

また開場3周年にあたる平成22年に設置しましたグランド・ピアノを無料貸出し、音楽系イベントにも積極的にご利用いただいております。

シニアのための「くるるセミナー」 (岐阜大学・十六銀行産学連携プロジェクト)

当行は、岐阜大学と連携し、シニアのためのセミナーを開催しています。健康やパソコン、地元の歴史や身近な自然、音楽や文学など、楽しく参加していただけるセミナーを各種ご用意し、皆さまのシニアライフをサポートしています。

また、参加者も平成13年10月の開講以来、延べ11,000人を超え、セミナーを受講された方々による「文化祭」が自主的に開催されるなど、シニアの方々が楽しく元気に活動されています。



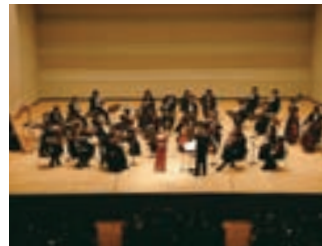
東日本大震災に関連した当行の取組みについて

東日本大震災で被災された皆さまに対しまして、心よりお見舞い申し上げます。当行では、次のような取組みを行っております。

- 平成23年3月14日より、被災者の方および操業停止など震災の影響を受けた事業者の方をご支援するため、特別融資の取扱いを開始いたしました。
- お客さまが当行窓口よりお振込みいただくあらゆる義援金について、振込み手数料を免除としております。
- 平成23年3月28日、被災者の方々の救援や被災地の復興支援を目的に、グループ各社が拠出した義援金10百万円を寄贈いたしました。また、グループ役職員からも義援金を募り、平成23年4月6日、13,725,877円を寄贈いたしました。など

「プロムナードコンサート」の開催

地域の皆さまに芸術・文化に触れていただく機会の提供を目的として開催しております「プロムナードコンサート」。テレマン室内オーケストラを迎え、平成22年12月16日長良川国際会議場にて、700組1,400名をご招待して開催しました。



公益財団法人 十六地域振興財団の活動

十六地域振興財団は、地域社会への貢献を目的として設立され、地域における産業振興、社会生活環境の整備、文化・スポーツ・国際化などの活動を助成により支援しております。平成22年度には、地域の緑化活動推進支援として新たに花の苗木の助成事業を開始しました。また奨学生支援事業として、平成22年度は52名の奨学生に対して、年間19,600千円の奨学金を給付しております。



チャリティゴルフコンペ 「ミナモ☆グリーン☆カップ」の開催について

岐阜県開催は「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」を、愛知県開催は「COP10」を支援する目的で、チャリティゴルフコンペ「ミナモ☆グリーン☆カップ」を12会場で開催し、総勢1,600名を超える方々にご参加いただきました。

この企画は、スポーツを通してお客さまと一層親睦を深めるとともに、ご参加いただいた皆さまとともに地域貢献活動に参画したいとの思いにより企画したもので、総額7百万円を上回る寄附金は各イベント成功のためにご活用いただきます。



将来の健全な 地域経済・地域社会を

育むために



「エコノミクス甲子園」岐阜大会の開催 ～金融経済教育活動～

平成22年12月5日、当行本店ビルにて、高校生の皆さまに楽しみながら金融経済を学んでいただくことを目的とした「エコノミクス甲子園岐阜大会」（共催：NPO法人金融知力普及協会、後援：岐阜県教育委員会）を開催しました。今回は初めての「岐阜大会」となりましたが、岐阜県内の高校生8校15チームが参加し、全国大会出場を目指して金融知力を競いました。



～じゅうろく夏休み親子特別企画～ WAKU! WAKU! キッズフェスタ

平成22年8月2日、「～じゅうろく夏休み親子特別企画～WAKU!WAKU!キッズフェスタ」を開催しました。この企画は、女性CS向上ユニット「JUICES」が初めて企画したイベントで、応募総数635通から50組100名の親子を抽選のうえご招待しました。

参加した子供たちは、JUICESメンバーのサポートにより模擬通帳を作成したほか、岐阜県金融広報委員会の尾関大輔先生から「お金の歴史・お金の価値」を学びました。

また、「当行卓球部の選手との親子3ポイント対決」や「カブトムシに触れる生態疑似体験」を通じて、夏休みの親子の思い出作りをお手伝いしました。



「ふれあいエコサイエンス広場 in モレラ岐阜」の開催について

平成22年12月12日、岐阜高専との産学連携事業として「ふれあいエコサイエンス広場inモレラ岐阜」を開催しました。

地域の将来を担う小学生の親子に対して、目に見えて実感しにくい環境問題について、身近なものとして興味を持ちながら考える有益な機会を提供するためのイベントとして企画し、600名を超える親子に参加いただきました。

会場では岐阜県地球温暖化防止活動推進センターの講師による石油に代わるクリーンな新エネルギーについての講義のほか、親子で一緒になってLEDを使用した光る星座のインテリアの作成、風車を自ら作る風力発電装置の作成、自転車をこいで自ら電気をおこす体験など、それぞれ楽しみながら環境や科学について学んでいただきました。



～小学生のための経済学習～ 「愛大・十六いきいきゲーム」の開催について

平成22年12月18日、愛知大学との産学連携事業として小学生を対象とした金融経済教育「愛大・十六いきいきゲーム」を、初めて愛知県で開催しました。

参加児童は8つの国（チーム）に分かれ、それぞれの国情に合わせて支給される紙（資源）・道具（技術）・所持金を使い、製造した製品を製品取引所で売る国や紙（資源）と文房具（技術）を物物交換する国、値引き交渉やオークションを始める国、銀行に預金を預け運用を図る国など、自由な発想で自国の経済発展を競い合いました。

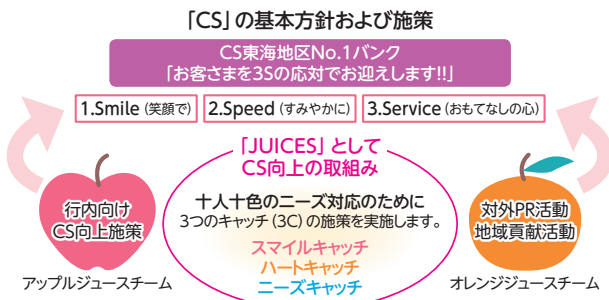
参加した子供たちに社会や経済のしくみ、あるいは仕事やお金の大切さなどを学んでいただくことができ、地域の将来を担う子供たちの人材育成の一助とすることができました。



トピックス

～女性CS向上ユニット「JUICES」の活動内容～

当行がCS（顧客満足度）において『東海地区No.1バンク』になることを目指し、骨格となるべく基本方針を策定しました。お客さまから圧倒的な信頼をいただけるように、女性CS向上ユニット「JUICES」の「アップルジュースチーム」が行内向けCS向上施策を、「オレンジジュースチーム」が対外PR活動・地域貢献活動等を、「きめ細かい」「女性目線」で取り組みます。今後も、「JUICES」と共に全行員で『お客さまに「感動」や「喜び」を感じていただける』付加価値の高いサービスの向上に努めてまいります。



一宮支店の新築オープン

平成22年11月15日、一宮支店が新築オープンしました。店内は、独立性をもたせた6つのローカウンターを確保して、



ゆったりとした相談スペースを確保しました。

店舗は、建物全体に太陽光線を反射するタイルと複層ガラスを採用し、クールアイランド効果と空調負荷軽減に努め、また照明にはLEDを積極的に採用するなど、環境配慮に取り組んでいます。

ICキャッシュカード新デザイン登場

平成23年2月21日、幅広い年齢層に人気の「トムとジェリー」をデザインした「じゅうろくICキャッシュカード」2種類を追加しました。これまでの「安心!」「お得!」「便利!」に加え、選べる楽しみも増えました。



TM & © Turner Entertainment Co.
(s11)

イーネット・イオン銀行ATMの手数料無料化

平成23年1月より、ファミリーマートやミニストップ等に設置のイーネットATM、イオンショッピングセンター等に設置のイオン銀行ATMについて、ご利用手数料を引下げました。

これにより、十六銀行・セブン銀行・イーネット・イオン銀行の全国28,000台以上のATMが、じゅうろくICキャッシュカードならいつでも無料、十六銀行の磁気キャッシュカードなら平日日中無料でご利用いただけるようになりました。



関支店の新築・移転オープンについて

平成22年7月12日、関支店が新築・移転オープンしました。

店舗は、関の地場産業である刃物をモチーフとした縦ルーバーを正面中央に配置しました。その両サイドには緑化タイルを配し、また建物全体に太陽光線を反射するタイルと複層ガラスを採用し、クールアイランド効果と空調負荷軽減に努めています。



緑・愛知南・金山ローンサービスセンターのオープン

平成22年4月に「緑ローンサービスセンター」、9月に「愛知南ローンサービスセンター」、平成23年1月には「金山ローンサービスセンター」がオープンしました。

ローンサービスセンターは、平日のみならず日曜日も営業し、お客さまや不動産・住宅業者さまからの住宅ローンのご相談ニーズにきめ細やかにお応えしております。

